

代 表 質 問

2月19日及び20日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
下山 芳男 議員



全庁一丸での行政経営改革の断行

質問 2年度は本庁舎整備や児童相談所運営に臨むとはいえ、予算の肥大化が著しい。将来に付けを残さないよう、全職員が経営感覚を持ち行政経営改革を断行せよ。

区長 多様な意見を取り入れて組織力を発揮し改革を牽引していく。

風水害対策の一層の強化

質問 昨年の台風19号を踏まえ区は風水害対策を総点検したが、区民と連携した避難所開設などの具体的な対策がいまだ示されていない。台風シーズン到来前には不

区長 現在検討を進めており、出水期までに具体的な対応を示す。

米国選手団キャンプ地の安全確保

質問 区は東京2020大会で米国選手団のキャンプ地となる。警察や組織委員会との役割を明確にして警備体制を構築し、滞在中の安全確保や緊急時対応などに万全を期せ

副区長 3月に関係機関と安全対策の最終確認を行い、万全を期す。

世田谷9年教育の総括

質問 2年度から新学習指導要領に基づく教育が始まり、区は教育は転換期を迎える。教育の更なる発展に向け、この間の世田谷9年教育の取組をどう総括するのか。

教育長 小中学校の情報連携などの推進に成果があったと考える。

せたがや11+による教育の発展

質問 区は世田谷9年教育を発展させ、就学前から一貫した教育を行うせたがや11+を示した。この取組により、区は教育の質を今後どのように高めていくのか。

教育長 子ども主体の体験や協働を重視した課題解決学習に変える。

幼児教育と保育の質の充実

質問 幼児教育・保育の無償化に伴い、多様な教育と保育のニーズに対応すべきだ。幼稚園や保育所など幼児教育と保育を支える機能を一体に捉え、質の充実に図れ。

保育部長 幼児教育と保育に関わる全施設を全力で支援していく。

児童相談所開設への準備の徹底

質問 児童相談所の運営に当たり、関係機関とのほだまで支援を漏らすことがあってはならない。都からの相談ケースの引継ぎや援助方針の共有などをしっかりと行え。

児童相談所開設部長 情報共有の徹底を図りはごまかない支援を実現する。

次世代を担う有能な人材の確保

質問 質の高い行政運営の維持には有能な人材が不可欠だ。特別区職員の志望者が減る中、民間や国他自治体との競合に負けないよう、戦略的な人材確保策を講じよ。

総務部長 地域づくりの魅力などを広く発信し採用活動を充実する。

商店街振興に向けた支援強化

質問 経営者の高齢化やインターネット通販の普及で商店街の経営環境は大変厳しい。地域の活性化や防犯を担う役割の重要性を十分考慮し、商店街振興に力を注げ。

経済産業部長 産業振興基本条例の見直しを進め一層支援していく。

資源の集団回収事業の継続

質問 住民主体による資源の集団回収はコミュニティの形成や環境保全の啓発に有効だが、古紙の在庫余剰で事業者が回収を断る例がある。事業継続を支援せよ。

清掃・リサイクル課 緊急措置として事業者を支援し事業の安定化を図る。

本庁舎整備への区内事業者の参入

質問 本庁舎整備では地域経済活性化や区内の建設産業振興の観点も重要だ。整備後の維持管理も見据え、区内事業者が参入しやすい施工者選定方法を構築せよ。

財務部長 品質や公正性の確保、経済振興などの方針で準備する。

本庁舎整備での国産木材の活用

質問 新国立競技場は国産木材を活用し、木の温かみや環境配慮の点で高く評価されている。新庁舎においても、多摩地域や川場村の木材を内外装などに活用せよ。

庁舎整備部長 コスト面に配慮し、調達先や使用箇所などを判断する。

公明党世田谷区議団
高久 則男 議員



災害時の情報伝達の強化

質問 災害時は全区民に正確かつ迅速に情報を届けることが不可欠だ。スマートフォンやラジオを持たない人には、固定電話やFAXに情報を発信するなど工夫せよ。

危機管理室長 他自治体の事例を検証し、導入に向け検討する。

子どもに向けた認知症条例の啓発

質問 認知症条例の制定に合わせ、より多くの区民に認知症への理解を促進すべきだ。学校で認知症理解に資する絵本を活用している大牟田市に倣い子どもにも啓発せよ。

高齢福祉部長 理解しやすい条例の解説書の作成などを検討する。

フレイルサポーターの一層の確保

質問 健康寿命延伸に向け要介護手前の状態「フレイル」の予防の重要性を指摘してきた。地域での住民主体の予防促進に向け、フレイルサポーターの確保に注力せよ。

高齢福祉部長 今後も、地域で担い手となる人材を育成していく。

高齢者の地域参加の場の拡充

質問 老人保養ホームふじみ荘が2年度末で廃止となる。民間のスポートジムや入浴施設と連携して高齢者が身近に出掛けることができる代替の場を早期に検討せよ。

生活文化部長 高齢者の自主的な活動の場の拡充に向け検討を急ぐ。

第2の産後ケアセンター整備実現

質問 法改正により、産後ケアセンターの設置運営に対する国の補助制度が創設される見通しだ。産後ケア拡充の声を受け第2の産後ケアセンター整備実現に尽力せよ。

区長 財源など実現に至る諸条件の検証を積極的に進めていきたい。

就職氷河期世代への支援策の推進

質問 就職氷河期世代への就労支援を充実すべきだ。三茶おしごとカフェなどと連携し実践的な就業体験や訓練などの支援策を講じよ。

副区長 就労支援機関や就業体験

先との情報共有を強化する。

SDGs達成へのロードマップ

質問 持続可能な開発目標「SDGs」の達成期限である2030年まで10年を切った今、全庁を挙げて取組を推進すべきだ。目標達成に向けたロードマップを作成せよ。

区長 ロードマップ作成も念頭に置き全庁を挙げ意識改革を進める。

東京20大会中のイベント情報発信

質問 東京20大会中の区内イベントを国際交流促進に生かすべきだ。地域の益踊りなどを観光用マップとしてまとめ、SNSで訪日外国人向けに積極的に情報発信せよ。

交流推進部長 SNSの発信に加え関係団体からの発信も依頼する。

東京20大会に向けた感染症対策

質問 東京20大会中は、区に国内外から多くの来訪者が見込まれるため、より一層の感染症対策が重要だ。医療体制の強化や医療通訳の確保など、万全の対策で臨め。

保健所長 健康危機管理体制づくりにより区内一体で準備をしている。

本文中で使用している省略表記

保育部長 保育担当部長

児童相談所開設部長

児童相談所

開設準備担当部長

庁舎整備部長

庁舎整備担当部長

交流推進部長

交流推進担当部長

保健所長 世田谷保健所長

道路・交通部長

道路・交通政策部長

東京20大会

東京20オリンピック・パラリンピック競技大会



世田谷立憲民主党社民党
中村 公太朗 議員



補助金交付の在り方の見直し

質問 地域団体への区の補助金は、目的、金額、効果が十分精査されておらず、既得権益のような交付が散見される。早急に見直し。

政策経営部長 補助金交付に係るガイドラインの見直しを検討する。

公有地活用に係る専門部署の設置

質問 財政健全化に向け、区有財産を最大限に活用した税外収入確保策を展開すべきだ。公有地に係る情報の集約と活用の検討を一括管理する専門部署を設置せよ。

政策経営部長 権限の一元化も有効と考え各所管と協議し検討する。

全事業点検の実施

質問 区の事業の中には依然として非効率で無駄なものが見えたり。かつて実施した全事業点検と同規模の大々的な総点検を行え。

副区長 全施策に成果指標を設け、成果の低い事業を絞り評価を行う。

世田谷の灯によるレガシー創出

質問 東京20大会に向け、世田谷公園の平和の灯を掲げ区内施設を巡る区民の取組は、平和継承として最大のレガシーとなる。主要行事で灯を披露し、全区民と共有せよ。

区長 プロジェクトの意図と目指すレガシーを多世代に伝えていく。

イベント民泊での国際交流の推進

質問 東京20大会中のイベント民泊を単なる自宅提供で終わらせてはならない。国際交流が進むよう、交流を望む家主と観光を希望する宿泊者とのマッチングなどを行え。

経済産業部長 自宅提供者への交流事例の紹介など交流を支援する。

コミュニケーション交通の撤退要件

質問 区は交通不便地域解消に向けコミュニティ交通を導入予定だ。多額の税金を使う以上、実証運行段階から採算性などを基に撤退要件を厳格に定め早急に議会に示せ。

道路・交通部長 2年10月に作成予定の手引に撤退要件を明示する。

無所属世田谷市10番 齋藤 大庭 正明 議員



台風19号対応での区長の失態

質問 昨年の台風19号の際、区長は鉄道の計画運休情報をツイッターで発信しておきながら対策を何ら講じず職員参集の停滞を招いた。初動態勢における失態を猛省せよ。

区長 あらゆる事態を想定し対策を見直してしっかりと対応していく。

区長としての公式アカウント創設

質問 台風19号時に区長は個人のツイッターで、区民が誤った避難行動を取りかねない情報を流す失態を犯した。区長としての情報発信は区の公式アカウントで行え。

副区長 災害情報の発信では区と個人の整合を図れるよう調整する。

災害時の非常配備態勢の強化

質問 台風19号では、区の非常配備態勢の計画は鉄道の運休により全く機能しなかった。職員参集での失態を教訓に、庁有車やレンタバスの活用を計画に盛り込む。

危機管理室長 庁有車による職員の再配置など、体制整備を進める。

民間委託による避難所開設

質問 災害時に地域住民だけで避難所開設を行うことは大変困難だ。避難所の鍵の管理と開設は、警備会社などの民間事業者に委託せよ。

危機管理室長 提案の件は関係部署と連携し、円滑な対応を図る。

大規模災害時のご遺体の取扱い

質問 首都直下地震の発生により、区内で想定される最大死者数55人のご遺体の取扱いについて区の計画には実効性がないと過去の議会で指摘した。その後見直したのか。

危機管理室長 遺体収容所の在り方を検討し地域防災計画を見直す。

児童相談所運営における情報共有

質問 4月に開設する区立児童相談所の運営では、議会との緊密な意思疎通が欠かせない。運営状況についての議会報告は丁寧に行え。

副区長 子どもの安全を守るため、緊密な情報共有と意思疎通を図る。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継で検索！

Setagaya aruた
佐藤 美樹議員



職員の育成のための兼業について

【質問】 SNSの普及などで人のつながり方が大きく変わった。住民と同じ目線に立ち変化に対応できる区職員を育成するため、地域密着の民間事業などの兼業を認めよう。

【政策経営部長】 一定の条件の下での兼業は効果的手法だと考える。東京2020大会会場の車寄せの確保

【質問】 東京2020大会への来場は公共交通機関が前提だが、タクシーや車での来場による渋滞発生が懸念される。組織委員会と連携し、馬事公苑に車両の車寄せを確保せよ。スポーツ推進部長 車両の車寄せなどを含め組織委員会と意見交換する。

【第1庁舎のレリーフ復元の在り方】 本庁舎整備に際し、区はクラウドファンディングで寄附を募り第1庁舎のレリーフを復元予定だ。目標額に達しない場合は税金投入せず寄附の範囲内で復元せよ。

【庁舎整備部長】 調達資金の多寡にかかわらず、設置していきたい。夜間保育ニーズへの柔軟な対応

【質問】 夜間の保育ニーズに柔軟に対応すべきだ。夜間保育所を設置する手法ではなく、ベビシッターを区の認可事業として展開せよ。

【保育部長】 認可のベビシッター事業の効果に係る検証を進める。新BOP事務局長への民間人登用

【質問】 新BOPは学校生活の延長になりがちだ。心地よい環境整備に向け放課後事業のノウハウを持つ民間人材を事務局長に登用せよ。

【生涯学習部長】 民間人材を広く登用しコーディネート機能を高める。高齢者と仕事のマッチングの推進

【質問】 お元氣高齢者が生きがいを持って暮らせる環境を整備すべきだ。民間アプリ「G・B・E・R」の活用も視野に、働きたい高齢者と仕事とのマッチング機能を充実せよ。

【経済産業部長】 AIの活用研究と試行を進め、就労促進に努める。

一般質問

2月20日及び21日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

桃野 芳文議員
(F行軍)



ホームページへの拙速な校則公開

【質問】 ホームページでの区立中の校則公開に際し、各学校の意向を無視し教育委員会が一方的に変更した校則を公開させたため、学校も保護者も混乱した。猛省せよ。

【答弁】 説明が不十分で誤解による混乱を生じたことを反省している。教員の行き過ぎた生活指導

【質問】 髪を染めた生徒は教室に入れないという生活指導が行われている区立中があるが、このような指導は学校教育法に反しており許されない。生徒に適切に対応せよ。

【答弁】 二度とないよう学校を厳しく指導し、生徒に謝罪も行った。給食用牛乳パック移行に伴う対応

【質問】 区は給食用牛乳を紙パックに変更し、リサイクルを進める予定だ。アレルギーで触れない子どももいる中、パックを洗う作業などで安全性を確保できるのか。

【答弁】 アレルギーのある子どもの人権と安全を優先し十分配慮する。菅沼 つとむ議員
(自 民)



瀬田小改築での教育環境の充実

【質問】 区は瀬田小の改築に向けた検討を進めている。改築に当たり、校庭の広さを十分確保することはもとより、将来的な児童数増加に対応できるよう教室数を拡大せよ。

【答弁】 普通教室を2つ増やしウィークスペースとして5教室確保する。ふじみ荘廃止を決定した理由

【質問】 区内の高齢者人口が増え続ける中、ふじみ荘は高齢者の生きがいづくりや孤立防止に寄与しており、絶対に廃止すべきではない。

区長はなぜ廃止を決定したのか。

【答弁】 民間活力での整備を検討したが、条件面で折り合わなかった。校庭の人工芝化のモデル実施校

【質問】 人工芝の校庭は雨天後もすぐにご利用でき、砂ぼこりも立たないため環境面で優れている。区が示した人工芝による校庭整備のモデル実施は小学校が対象なのか。

【答弁】 実施校はゴムチップ舗装の校庭がある小学校を予定している。田中 みち子議員
(生 産)



虐待を受けた子どもの愛着形成

【質問】 虐待を受けた子どもは愛着障害を抱えやすく、自分の意見を言うのが困難だ。4月に開設する児童相談所では、愛着形成のための心理療法プログラムを導入せよ。

【答弁】 児童相談所の相談援助活動の中で積極的に活用していきたい。エネルギーの地産地消の推進

【質問】 区は太陽光発電の余剰電力を高値で売れる期間を終えた卒FIT電力の区施設への活用を図る方針だ。エネルギーの地産地消に向け区民に調達の協力を求めよ。

【答弁】 余剰電力を区施設で消費することへの理解を区民に求める。ハラスメントゼロへの区長の覚悟

【質問】 区職員のハラスメント相談件数は約50件で推移しているが、セクハラは性暴力の一つで重大な人権侵害だ。区長は強い覚悟でハラスメントゼロの実現に取り組め。

【答弁】 ハラスメントは絶対に起こさないという覚悟で注意喚起する。平塚 敬二議員
(公 明)



太陽光発電設備の設置助成の実現

【質問】 地産地消型再生可能エネルギーの利用拡大と地域防災力の向上に向け、太陽光発電の普及を促進すべきだ。蓄電池に加え、太陽光発電設備の設置にも助成せよ。

【答弁】 太陽光発電の導入を含めたエネルギーの利用拡大に努める。学校でのリサイクルの見える化

【質問】 区の給食用牛乳の紙パックへの変更は環境教育を進める絶好の機会だ。紙パックをトイレレットペーパーに再生して学校に返すなど、リサイクルの見える化を図れ。

【答弁】 リサイクルの仕組みなど分かりやすく伝える工夫を検討する。行政課題解決につなぐ空き家活用

【質問】 区内で不足が深刻な保育園や高齢者施設などの整備に空き家を一層活用すべきだ。所有者などに対して活用につながる事業を直接案内し、協力を働きかけよ。

【答弁】 所有者などへ積極的に働きかけ、空き家対策を推進していく。石川 ナオミ議員
(自 民)



千歳烏山駅周辺まちづくりの推進

【質問】 京王連立事業が進む中、千歳烏山駅周辺では商店街連合会が発足しまちづくりの機運が高まっている。地域や事業者と密に連携し、まちづくりを積極的に進めよ。

【答弁】 商店街連合会などと十分連携しまちづくりを積極的に進める。文化芸術分野での民間活用の推進

【質問】 大宅壮一文庫は明治時代以降の雑誌を約80万冊所蔵した国内唯一の雑誌専門図書館である。これを貴重な文化資源として、区の文化芸術施策の推進に生かせ。

【答弁】 文庫側からの申出もあり、今後連携協力について検討する。地籍調査の着実な推進

【質問】 土地の境界を明確にする地籍調査の推進は災害復旧の面からも喫緊の課題だが、区の進捗率は僅か約3%だ。具体的な数値目標を明確に定め、迅速に進めよ。

【答弁】 9年までに調査面積300ha、進捗率5%を目標に着実に進める。ひうち 優子議員
(世田谷)



自転車マナーの啓発に向けた工夫

【質問】 自転車マナーを一層啓発すべきだ。世田谷248ハーフラランの際に公園内のコースで専門家による正しい乗り方のデモンストレーションを行うなど、工夫せよ。

【質問】 自転車マナーの普及啓発を行うコースの設置は可能と考える。公園内へのスポーツ練習場の設置

【質問】 公園内に全面が網で覆われたボックス型のスポーツ練習場があれば気兼ねなく野球やサッカーの練習が可能。上質公園拡張用地や他の公園への設置を検討せよ。

【答弁】 今後の施設整備や更新の際に様々な課題を踏まえ検討する。エンディングノートの普及啓発

【質問】 終末期に備え自分の意思を残すエンディングノートは相続人の意思を相続に反映する際の補足資料にもなる。普及に向けホームページでダウンロード可能にせよ。

【答弁】 ホームページ掲載など普及に向け社会福祉協議会と協議する。河村 みどり議員
(公 明)



全庁でのエシカル消費の推進

【質問】 持続可能な開発目標「SDGs」の実現には、人や社会、地球環境、地域に配慮して消費を行うエシカル消費の普及が重要だ。全庁で進める体制を構築せよ。

【答弁】 庁内報などで職員にエシカル消費の理解を促し周知啓発する。認知症者の新たな支援体制の構築

【質問】 国は認知症サポーターが認知症本人や家族のニーズに応じきめ細かな支援を行う「チームオレンジ」の構築を推進している。区も早急に仕組みづくりに着手せよ。

【答弁】 認知症サポーターの活動を支援し、仕組みづくりに取り組む。地域サービス拡充

【質問】 住民主体の地域サービスとしての会食機会は要介護手前の状態「フレイル」予防に有効だ。担い手と活動場所の確保にあらゆる手を尽くし、サービスを拡充せよ。

【答弁】 区民の主体的な参画を広く呼び掛け活動場所確保にも努める。中里 光夫議員
(共 産)



北沢地域の保育待機児解消

【質問】 区は3年4月の待機児解消に向け102人分の定員増を計画したが、待機児が顕著な北沢地域での解消なくして実現不可能だ。北沢地域での整備状況と見込みを示せ。

【答弁】 475人の定員拡大が目標だが、現在の見込みは3か所で12人分だ。上質公園のPFI検討について

【質問】 区は上質公園整備に際し、民間ノウハウを活用するPFIを導入予定だ。福岡市では事業者が経営破綻し事業中断した例もある。リスクを分析し慎重に検討せよ。

【答弁】 メリットやリスクを明らかにし、適切な事業手法を判断する。旧守山小後施設へのエアコン設置

【質問】 区は災害時の避難所となる全学校体育館にエアコンの設置を進めている。旧守山小後施設のもりやまテラスの体育館も避難所となるため、エアコンを設置せよ。

【答弁】 現状を確認しながら、機種や導入の手法などを検討していく。中山 みずほ議員
(立民社)



好事例を生かした不登校対策

【質問】 校則全廃などにより生徒に合わせた教育で注目される桜丘中は元年度に入学した生徒の約4割が指定校変更で通い、また、不登校の子どもが通うほととスクールでは尾山台や城山と比べ希望丘が人気だ。不登校対策に資する両施設が選ばれる理由をどう考えるか。

【答弁】 桜丘中は子どもの自主性を尊重し運営されており、ほととスクールにも共通点があると考ええる。新BOPの根本的な見直し

【質問】 新BOP設立当初の学童クラブへの申込者数は約100人であったが、2年度は約700人に達するとされ、設計時に想定していた子どもたちの昼寝や活動のスペースを十分確保するのは困難な状況だ。利用者増による過密状態の解消に向け、新BOPの根本的な見直しを図れ。

【答弁】 来年度には運営場所や形態、方法などについて、中長期的な抜本的な在り方の検討に着手する。

青空 こうじ議員
(無所属)



子どもへの児童相談所開設の周知

【質問】 子どもの命と尊厳を守るには、困ったとき相談すれば助けてくれる身近な存在として児童相談所が認識される点が重要だ。開設を子どもに分かりやすく周知せよ。

【質問】 子どもにも分かりやすい言葉での周知に工夫して取り組む。

子ども家庭支援センターの役割

【質問】 子ども家庭支援センターは、これまでも地域の子育て支援の中核を担い児童虐待の防止に寄与してきた。児童相談所が開設されることで役割がどう変化するのか。

【質問】 児童相談所が開設されることで役割がどう変化するのか。

児童相談所設置への部長の決意

【質問】 児童相談所設置に伴い、区は子どもの命を守る大きな権限を持つことになる。全ての子どもが健やかに幸せに暮らせる世田谷の実現に向け担当部長の決意を示せ。

【質問】 子どもの最善の利益が守られた児童相談行政に全力を尽くす。

ひえしま 進議員
(F行革)



台風19号住民説明会での区の失態

【質問】 台風19号の住民説明会で区が交通規制で等々力排水樋門を閉鎖できなかったとした点に警察から強い抗議があり謝罪したと聞く。猛省し、警察との関係修復を図れ。

【質問】 これまで以上に警察と連携し円滑な水防活動の遂行に努める。

認可園でのエビペン対応の徹底

【質問】 食物アレルギーがあり治療剤のエビペンを常備している子どもの受入れを拒否する認可園が区内にあったことは大問題だ。エビペン対応に係る指導を徹底せよ。

【質問】 エビペンの受け取り拒否はあってはならず、周知を徹底する。

LINEを活用した災害情報発信

【質問】 緊急時における情報発信体制を強化すべきだ。不特定多数の区民に情報を迅速に届けられ、時

系列の整理もしやすいLINEを活用した住民周知に取り組み。

【質問】 情報発信におけるLINE活用の有益性を引き続き研究する。

穴戸 三郎議員
(自民)



「うめとぴあ」の区民周知

【質問】 4月の保健医療福祉総合プラザの開設により、梅ヶ丘に保健医療福祉の全区的な拠点「うめとぴあ」が完成する。多くの区民に利用してもらえよう周知せよ。

【質問】 ホームページでの周知や施設内でのイベントなどを実施する。

認知症者支援の推進

【質問】 団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けて認知症施策の充実を求めている。うめとぴあでの認知症在宅サポートセンターの運営費82万円で行う事業を具体的に示せ。

【質問】 物忘れ専門相談や認知症サポーター養成講座などを行う。

高齢者の社会参加促進策

【質問】 高齢者の社会参加は健康増進に有効であり、区は参加促進に向け有償ボランティア活動に係る交通費などを助成する事業を行う。どのような活動が対象となるのか。

【質問】 地域貢献や高齢者相互の助け合いを行う活動などが対象だ。

あべ 力也議員
(減税)



ベビーシッターの利用促進を！

【質問】 区が約束した今年4月の保育待機児解消が不可能なことは問題だ。待機児の親に利用料を助成する都のベビーシッター利用支援事業を他区に倣い区も活用せよ。

【質問】 保育の質の確保が不可能な理由に活用に至っていない。

パラハーフマラソンを共催せよ！

【質問】 世田谷246ハーフマラソンには障害者の参加実績が1件もない。共生社会の前進に資するユニバーサルな大会となるよう世田谷246パラハーフマラソンを同時開催せよ。

【質問】 車椅子マラソンなどに取り組みないか検討をしていきたい。

民法改正の主旨に沿う成人式を！

【質問】 4年に成人年齢が18歳に引き下げられるため、成人式の実施年齢も18歳で実施すべきだが、受験時期と重なるなどの課題がある。区民意見をどう集約し決めるのか。

【質問】 アンケートなどで意見を聞き22年度中に開催方針をまとめる。

たかじょう 訓子議員
(共産)



ふじみ荘の存続の可能性

【質問】 区が突然廃止案を示したふじみ荘は、現行の公共施設等管理計画では存続方針となっている。これは、ふじみ荘の存続の必要性を認めたからではないのか。

【質問】 有効性を踏まえ施設存続を検討したが採算性に問題があった。

新たな貧困を生まないための対策

【質問】 区の子どもの生活実態調査の詳細分析では、新たな貧困を生まなため対策として、教育支援の重要性を述べている。この結果を教育現場としっかり共有せよ。

【質問】 調査結果概要などをリーフレットにして小中学校に配付する。

子どもの生活実態調査結果の共有

【質問】 さきの質問に対し、教育委員会は、子どもの生活実態調査の結果を教員研修の場で共有すると答弁した。結果内容は各校に配付されるため学校内での共有も促せ。

桜井 純子議員
(立民社)



セルフプランに対する区の認識

【質問】 障害者自らが支援計画を作成できるセルフプランは選択の権利を保障する上で重要だが、区が事業者の作成のプランを勧奨する例がある。権利軽視ではないのか。

【質問】 セルフプランは本人の力を引き出す点で大切だと考えている。

インクルーシブ教育の推進

【質問】 障害者差別の解消には、子どもの時期から障害者と過ぐるインクルーシブ教育が不可欠だ。子

ども計画第2期後期計画の策定に際しては、この視点を盛り込む。

【質問】 教育委員会と調整し、より具体的に記述していく。

DV被害者への支援強化

【質問】 国はDV被害者を守る民間シェルターに係る補助事業を実施予定だ。これを活用し、自立支援や母子一体での受入れなど、シェルターでの機能の充実を支援せよ。

【質問】 児童相談所設置も踏まえ被害者支援の点から活用を検討する。

島山 晋一議員
(自民)



商店街の街路灯維持への支援

【質問】 商店街の解散に伴う街路灯撤去により、北沢地域では標識を見逃した車両が通りを逆走するなどの危険が生じている。安全確保のため街路灯維持への支援を行え。

【質問】 まちになくってはならない商店街の維持発展などを検討する。

本庁舎整備のドローンによる空撮

【質問】 本庁舎整備への区民の関心は高く、整備の様子を動画として区政記録に残すべきだ。撮影に際しては工事で立入り困難な場所も空撮できるドローンを活用せよ。

【質問】 ドローン撮影も参考に後世へ有益な資料となるよう工夫する。

二子玉川緑地運動場の早期復旧

【質問】 台風19号で甚大な被害を受けた二子玉川緑地運動場は区民の健康増進に寄与しており、迅速で確実な復旧を強く望む声が多い。

【質問】 可能な限り早期に利用を再開できるよう全力で取り組む。

河野 俊弘議員
(自民)



三軒茶屋のまちづくりの機運醸成

【質問】 三軒茶屋のまちづくりへの機運を一層醸成するには、まちの変化に気付いてもらうための工夫が重要だ。道路のカラー化などまち全体を目に見える形で刷新せよ。

【質問】 指摘のような道路や歩道のカラー化も手法の一つと考える。

ほっとスクールの運営手法の改善

【質問】 公設民営の手法を用いたほっとスクール希望丘はニーズが想定を上回り、定員を増やす予定だ。定員を下回っているほかの2施設にもこの手法を導入し改善を図れ。

【質問】 三者間の会議で希望丘の利点を職員が学ぶ機会を設けている。

喫煙場所設置の補助の在り方

【質問】 区内の喫煙場所の民間による整備実績が1か所しかない原因は、助成の対象が設置経費のみだからだ。民間整備の促進に向け、維持管理経費も補助対象とせよ。

【質問】 整備状況やニーズを勘案し整備促進策を検討する。

中塚 さちよ議員
(立民社)



新型コロナウイルスの蔓延防止対策の強化

【質問】 新型コロナウイルスの流行を示すパンデミックとなるのが懸念される。手洗いの励行や満員電車を避ける時差出勤の推奨など区内における蔓延防止対策を講じよ。

【質問】 区として流行の段階に応じた感染症対応や蔓延防止に努める。

ショートステイの利用要件の周知

【質問】 子ども虐待を防ぐためには虐待に至る前に地域で親子を支える場所が必要だ。子どもショートステイを育児疲れや育児不安で利用できることを明確に周知せよ。

【質問】 育児不安の際安心して利用できるよう分かりやすく周知する。

国保の一部負担金減免制度の普及

【質問】 がん治療に伴う離職で収入が激減し高額治療費の支払に苦しむ例は多い。数か月間医療費減免が受けられる国保の一部負担金減免制度を患者等に広く周知せよ。

【質問】 がん患者や家族に必要な情報が届くよう制度普及に努める。

いそだ 久美子議員
(立民社)



世田谷美術館の集客策の工夫

【質問】 世田谷美術館の来館者は5年間で約18万人も減っている。館内撮影の原則禁止を改め、著名人

を招き作品をSNSで拡散してもらうなど来館者増に向け工夫せよ。

【質問】 SNS活用に向けた館内の撮影場所拡充を美術館と協議する。

保健センターの健診環境の改善

【質問】 保健センターの健診環境は、更衣室に鍵つき個室はあるものの男女共用で受診時間帯も男女同じであり女性への配慮に欠く。梅ヶ丘拠点への移転に合わせ改善せよ。

【質問】 指摘の改善点を踏まえ、より快適に利用できるよう取り組む。

障害者のがん検診の受診促進

【質問】 知的障害者の子宮がん検診受診率は低く、がん発見の遅れが懸念される。障害者施設入所者向けに医療機関の婦人科を貸し切つて受診を促すなど、対策を講じよ。

【質問】 障害者が受けやすいがん検診の在り方などについて検討する。

神尾 りさ議員
(あらた)



三軒茶屋と下北沢の魅力向上

【質問】 区の基本計画では三軒茶屋から下北沢を文化創造の軸と位置づけている。文化発信地であるそれぞれのまちづくりの特徴を活かしつつ、一体的に魅力向上を図れ。

【質問】 両拠点間の回遊性を高め、互いの魅力向上に向けて取り組む。

認可外保育施設利用者の補助拡充

【質問】 認可外保育施設の利用料負担を軽減できれば、預け先の選択肢が増え、待機児童の減少につながる。利用料補助拡充の3年度からの実現に向け、早急に検討せよ。

【質問】 3年4月の入園申込みに合わせて早急に検討し、準備を進める。

「おたがいさまbank」の改善

【質問】 区は「おたがいさまbank」に登録したボランティア人材を十分に活用できていない。課題を明確にし、制度がしっかりと機能するよう仕組みの改善を図れ。

【質問】 使いやすい仕組みへと改善を図り活動機会の充実につなげる。



問

質

般

一

くりはら 博之議員
(区守会)



NHKによる住民票の無断取得

質問 NHKが音信不通を理由に契約者の住民票を無断で取得し、受信機設置の確認もせずに登録情報を変更する行為が横行している。住民基本台帳法では、自己の権利行使のために住所確認の必要がある場合は取得できるとしているが、NHKの行為はこれに当たるのか。

答弁 契約者と連絡が取れないなど、債権保全のために確認の必要がある場合には取得が可能となる。NHKの新たな受信料発生の際

質問 NHKはインターネット常時同時配信の実施を予定しており、今後はテレビを持たなくてもパソコンやスマートフォンを持っていれば、受信契約を迫られる懸念がある。NHKが新たに受信料を徴収する方針を示した場合、区はどのように対応するつもりなのか。

答弁 新サービスにおいて追加負担などが示された場合には、内容を確認の上、適切に対応していく。

真鍋 よしゆき議員
(自 民)



千歳烏山駅周辺整備における課題

質問 千歳烏山駅前広場の整備に当たり、移転を強いられる地権者の代替地確保は大きな課題だ。過去に区がまちづくり事業のために取得した土地を代替地に活用せよ。

京王線沿線の更地の有効活用

質問 京王線沿線では連立事業による用地買収に伴い更地化が進んでいる。事業着手までの間、休憩所や喫煙所を設置するなど区民の利用につながるよう有効活用せよ。

生産緑地に係る都の支援の活用

質問 都は2022年の生産緑地の指定解除を見据え、自治体による生産緑地の買取りと活用を後押しする

財政支援制度を創設すると聞く。情報収集に努め、制度を活用せよ。

そのべ せいや 議員
(都フア)



保育待機児の預け先確保への支援

質問 4月の待機児解消の未達成を重く受け止め、待機児の預け先確保に注力すべきだ。認可外保育施設の無償化対象施設や空き状況を能動的に対象者へ案内せよ。

答弁 保護者が必要な情報を容易に入手できるように改善を図る。

1歳入園可能な保育待機児対策へ

質問 1歳児入園が難しい状況が続くと、入園しやすいゼロ歳児入園を選ばざるを得ず、それが本来必要な需要を生んでしまう。1歳待機児解消へ1歳定員を増強せよ。

答弁 ゼロ歳から2歳児の定員の在り方について、検討していく。

成人年齢下げに伴う懸念払拭

質問 2022年4月の成人年齢下げに伴い、18歳から成人として自由に契約などができるため、消費者被害に遭うことが危惧される。被害防止に向け若者に注意喚起せよ。

答弁 SNSなど若者に届きやすい媒体を活用して広報していく。

上川 あや 議員
(虹)



浸水想定区域に仮庁舎を置く危険

質問 本庁舎整備に伴い区は水防を担う都市整備部門を多摩川の浸水想定区域に移す計画だが、浸水時の人員・物品の避難計画も業務継続計画も未策定。どうするのか。

答弁 都市整備領域の移転までに避難計画を含めた対応を整理する。

法規定の施設名称を隠すとは何事

質問 区がDV被害者救済に向け整備した法に規定のある配偶者暴力相談支援センターだが、同名称では国に届け出ず区民にも同名称は非公表。一連の不案内を改めよ。

答弁 相談が必要な方を区の支援につなぐため早急に検討改善する。

支援窓口を広げせぬ姿勢を改めよ

質問 被害者支援の窓口を区民に知らせぬ悪癖を再三指摘したが、DV被害者救済で重要な配偶者暴力相談支援センター設置でも繰り返した。猛省し全庁で点検せよ。

答弁 他事業も案内が行われているか点検するよう庁内に指示する。

羽田 圭二議員
(立民社)



多子世帯の国保料の負担軽減策

質問 国保料の均等割は子どもが多い世帯ほど負担増につながる仕組みだ。国へ制度の抜本的な見直しを求めるともに、多子世帯への区独自の負担軽減策も講じよ。

答弁 国が見直すまで子育て支援として区ができることを検討する。

住民自治の更なる拡充

質問 児童相談所開設に伴う都から区への事務移管を機に、財政自主権に加えて住民自治の拡充にも取り組むべきだ。区民の意思を政策に反映できる仕組みを構築せよ。

答弁 区民の政策形成過程の関与の在り方を今後議論していきたい。

教員の長時間労働の改善

質問 教員の長時間労働の要因は人員不足であり、区が行う教員の労働時間管理の徹底では改善につながるのか疑問だ。長時間労働の実態を的確に把握し対策を講じよ。

小泉 たま子議員
(あらた)



転入手続の在り方の抜本的見直し

質問 目黒区と野田市の児童虐待死事件の真因は転入時に家族を受け止められずに孤立を招いたことにある。虐待ゼロ実現に向け、転入手続の在り方を抜本的に見直し。

答弁 地域行政の検討で転入手続など窓口業務の在り方も検討する。

予防型の新たな虐待対策の実施

質問 区の虐待対応はセーフティネットが中心であり対症療法に過ぎない。セーフティネットの

枠組みを超えた新たな予防型の対策を打ち出し、虐待ゼロを目指せ。

答弁 児童館を地区の情報や見守りの中核として位置づけ支援する。

地域行政検討委員会での検討素材

質問 地域行政検討委員会が地区の行政の在り方が検討された。出張所とまちづくりセンターだけでなく児童館、区民センターなどの区民活動拠点も検討素材に加えよ。

答弁 区民センターや児童館などについて今後検討を深める予定だ。

江口 じゅん子 議員
(共 産)



区長の財政運営の基本について

質問 区はふじみ荘廃止方針等を提案した。区長は区民サービスカテゴリーではない財政改善等の行革を進めてきた。しかし、この提案は区長の基本姿勢と外れていないか。

全ての保育施設での質の担保を

質問 区内でも企業主導型保育所の突然の廃園等が相次いだ。区は新年度から、保育総定員に企業主導型を加える予定だ。全ての保育所の保育の質をどう担保するのか。

答弁 巡回指導や意見交換会など、事業者と密に連携し質向上を図る。

新BOP学童の過密化等改善を

質問 学童の登録数が95人超の大規模校は3分の2を占める。過密化の一方指導員は欠員状態。この状況をどう捉え、当面200名超の大規模新BOPにどう対応するのか。

高岡 じゅん子 議員
(生 ネ)



学校給食を通じたSDGsの実践

質問 学校給食の中で、持続可能な開発目標「SDGs」を実践すべきだ。子どもの未来と健康づくりも視野に、地産地消や有機農法による食材を一層活用せよ。

答弁 区内農産物の使用を進め今後安心安全の給食提供に努める。

SDGs教育への教育長の見解

質問 SDGs教育に係る議会質問に対し、区はキャリア教育と関連付けて地域資源を活用した教育を行うと答弁した。キャリア教育に精通する教育長の見解を示せ。

障害特性に応じた就労支援

質問 障害者の民間就労が進む中、より就労困難な障害者への支援に力を注ぐべきだ。区役所で就労訓練するチャレンジ雇用では、障害特性に応じたきめ細かい対応せよ。

答弁 より短い勤務条件の職を複数設け特性に応じて対応していく。

岡本 のぶ子議員
(公 明)



多胎児家庭への支援事業の創設

質問 多胎児の保護者は授乳や夜泣きなどで十分睡眠が取れず、外出も困難なため孤立しやすい。国や都の補助制度を積極的に活用し、多胎児家庭の支援事業を創設せよ。

答弁 補助制度の効果などを検証し、新たな支援策を含め検討する。

避難行動要支援者の支援の再構築

質問 避難行動要支援者の個別支援計画作成が遅々として進まない。大規模災害時に円滑に避難できるように計画作成を福祉専門職等に委託するなど、支援を再構築せよ。

答弁 より実効性ある支援に向け、検討部会を開き改善策を検討する。

災害時の在宅避難の啓発強化

質問 大規模災害時に避難所ですべての区民を受け入れることは不可能だ。自宅に倒壊などの懸念がない場合は在宅避難を選ぶ方が適切であることを区民全体に周知せよ。

金井 えり子議員
(生 ネ)



レジ袋削減の取組状況

質問 鎌倉市のイベント「鎌人いち場」では、家庭で使わない紙袋などをシェアする取組でレジ袋の

大幅な削減を実現した。区はレジ袋削減にどう取り組んでいるのか。

水道直結型給水機

質問 我が会派は区職員や区民のペットボトル削減に向け、持参したマイボトルに給水できる水道直結型給水機を庁舎に設置するよう議会に提案した。進捗状況を示せ。

答弁 2年度に水道直結型給水機を本庁舎に1台設置予定である。

区民の防災減災行動への啓発強化

質問 区民の防災減災行動を促すには分かりやすい啓発が重要だ。台風で被災した区民の意見や地域特性を踏まえた水害対策を地区防災計画に反映し、丁寧に周知せよ。

藤井 まな 議員
(立民社)



防災三者協定の締結

質問 災害対策を一層強化すべきだ。マンションの共有部を避難場所として住民に開放し、区が物資を提供できるよう、防災三者協定を町会、マンションと締結せよ。

答弁 関係所管で連携し、大規模災害時の共助の取組を目指す。

看護師バンクの設置

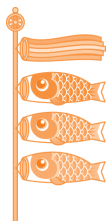
質問 医療的ケア児の保護者から、看護師探しに苦慮しているとの切実な声を聞く。保護者の負担軽減に向け、必要に応じて看護師を派遣する看護師バンクを構築せよ。

答弁 医療的ケアの担い手を増やす策など支援充実に向け検討する。

世田谷の更なる魅力発信

質問 区はナイトタイムエコノミー政策がなく、アニメ・ゲーム・ドラマの聖地というコンテンツも活かしていない。ブランドイメージが向上する観光戦略を再考せよ。

答弁 観光ホームページに外国人向けのコンテンツを掲載予定だ。



会派等の意見

2年度予算を審査するため、49名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月5日から3月23日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された2年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…おぎのけんじ議員
公明党世田谷区議団…福田たえ美議員
世田谷立憲民主党
社民党…いそだ久美子議員
無所属…
世田谷行革11番・維新…大庭 正明議員
Seitagsあらた…佐藤 美樹議員
日本共産党世田谷区議団…中里 光夫議員
生活者ネットワーク
世田谷区議団…田中みち子議員
減税せたがや…あべ 力也議員
レインボー世田谷…上川 あや議員
世田谷無所属…ひうち 優子議員
都民ファーストの会…そのべせいや議員
区民を守る会…くりはら博之議員
無所属…青空こうじ議員

新型コロナウイルスによる危機的状況から 全庁一丸で区民生活を守れ

—自由民主党世田谷区議団—
(全ての会計に賛成する意見)

感染拡大が続く新型コロナウイルスは3月27日時点、全世界で感染者50万人以上、死者2万人以上に上り、都内でも予断を許さない状況である。他自治体の首長が政府の緊急要請に迅速機敏に対応する中、保坂区長は政府批判のツイートに終始した。92万区民を抱える世田谷区の長として今なすべきことは、区民の生命と財産を守るための具体策を早急に区民に示すことであり、8万6000人のフォロワーに人ごとのように評論することではない。区長は私心を捨て、緊急時での区長の職責を全うするよう強く求める。この間の企業活動や消費の停滞による区財政への影響は看過できない。国の対策が区民や事業者に速やかに行き届くことを最優先に、特に中小零細企業への融資などの経済対策は少しの遅れが命取りに

なることを肝に銘じ、迅速に対応せよ。それに伴う機動的な財政支出には、我が会派が再三指摘してきた行政経営改革と事業の廃止縮小による財政マネジメントが大前提である。また、深刻な影響が出る3年度の予算編成では全庁で事業の大幅見直しをすべきだが、これまでの予算の肥大化や財政の硬直化につながる出口戦略なき弱者対策や対症療法的抱え込み事業が大きな足かせとなる。その上、スズメの涙程度の行政経営改革の実績やさまざまな事業評価結果から先行きは不安だが、区長の迅速な英断を期待する。区はリーマンショック時の行政経営改革で約100億円の財源を確保したと聞く。当時を上回る影響が懸念される中、区長と副区長は強力なリーダーシップを発揮し、新実施計画事業も含め不要不急な事業の停止を積極果敢に行い財源を確保し、全身全霊で区民生活の維持を図れ。また、東京20大会延期に伴う対応や庁内での感染者発生時の対応に加え、自然災害の同時発生などの複合的な危機も想定しておくべきである。このような状況でも推進すべきと考える事業を以下述べる。

災害対策では、昨年10月の台風19号の被害を受けてもなお変わらない災害予防型の都市基盤整備に対する区長の消極姿勢の改善を強く求める。風水害対策では持ち前の国会議員ネットワークを生かし成果を出すことを切に期待する。児童相談所運営では、子ども家庭支援センターなどの関係機関との緊密な連携により一元的かつ重層的な児童相談行政の実現を求めるとともに、子どもの安全と生命を第一に、最新の知見を取り入れ予見されるリスクや援助方針の共有の徹底を図ることを切に望む。地域行政制度では、今後も町会や自治会に頼る制度設計とするならば、町会と自治会の持続可能性をしっかりと議論し100万都市を見据えた地域コミュニティの在り

方や行政の支援手法を明確に示せ。ふるさと納税対策では、批判や言い訳ばかりで蚊が刺す程度の対策しか講じられず区民の同情も買えず、流出累計額は145億円にも達した。ここまで落ち込んだ現状から脱するのは至難の業だが、なりふり構わない対抗策や国会議員ネットワークも駆使して流出額の減かつ寄附増の流れへと転換せよ。2年度から着手予定の本庁舎整備は、総額500億円弱、工期7年の大事業である。今の社会情勢の下、実施が延期かの判断を下す際は区民や関係各所に丁寧に説明せよ。今後、区民の視線が一層厳しくなる中、あらゆる面で行財政の強靱さと回復力が求められる。今こそ、全庁一丸でこの難局に立ち向かい、事業の優先順位を厳に精査し区政運営に当たることを強く望む。そして、この危機的状況を乗り越えたという経験が、必ずや今後の区政運営の財産となることを、我が会派は確信している。

新型コロナウイルスから区民生活を守り抜き 将来を見据えた区政運営を行え

—公明党世田谷区議団—
(全ての会計に賛成する意見)

新型コロナウイルスの感染拡大により景気の後退が懸念される中、区としても一層メリハリのある財政運営が必要だ。各事業の実施に際しては、行政、民間、官民連携のどの手法での実施が最適かを精査すると同時に、行政と区民の責任の基準を明確にして財政規律を維持せよ。新公会計制度導入を機に、フルコスト情報による分析検証を踏まえ、行政評価をすべきだ。23区の慣習化した行政構造にとられず前例を打ち破る発想で健全財政を築け。以下、我々が最重要課題と考える施策について意見を述べる。第1に、新型コロナウイルス対策について

時相談窓口の開設や、学校休校に伴う困窮家庭への弁当配達など、我が党が求める改善策に迅速に対応したことを評価する。学校再開後においては集団感染予防策を講じるとともに、学童クラブなどと連携し新一年生の登下校時の安全確保に注力せよ。経営不振が懸念される事業者への融資では柔軟に対応しつつ、的確な実態把握に努め、国や都、区の支援につなげよ。第2に、防災減災対策についてである。昨年の台風19号で甚大な被害が出た多摩川流域での治水対策は急務であり、国や都と流域自治体が密に連携して迅速に対応せよ。福祉専門職と連携し避難行動要支援者用の個別支援計画を作成し、2年度中に多摩川流域でモデル実施し、全区展開の道筋を示せ。第3に、気候変動に立ち向かう環境対策についてである。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、区に専管組織を設置するとともに、指針の見える化を進めるべきだ。まずは2年度中に食品ロス削減推進計画を策定せよ。また、せたがや版RE100の実現に向けて地球温暖化対策に区民とともに取り組む区の姿勢を示し、太陽光発電設備などの更なる普及に努めよ。第4に、産み育てやすい子育て支援についてである。多胎児支援では、産後ケア事業の拡充を含め、多胎児家庭に特化した支援策を早期に講じよ。都が2年度から開始する多胎児の育児経験者によるピアサポート相談事業を活用せよ。また、児童相談所の開設では一人の子どもも置き去りにしないよう、施設従事者同士の連携を強化せよ。第5に、高齢者施策についてである。4月に開設する「うめとびあーは、がんの検診や相談の充実」に資する拠点となる。区民に寄り添った施策を講じよ。区民に寄り添った施策を講じよ。区民に寄り添った施策を講じよ。

第1に、新型コロナウイルス対策について

東京20大会関連予算を無駄にせず 新型コロナウイルス対策に全力を注ぎ

—世田谷立憲民主党社民党—
(全ての会計に賛成する意見)

ふるさと納税での減収は70億円に上り看過できない。キッチンカーを活用した税外収入確保やプレミアム付区内共通商品券見直しなどを行え。この状況で副区長を3人にするなら人選には慎重を期せよ。新型コロナウイルスへの対策が喫緊の課題だ。学校休校に伴う学童クラブなどでの密集度を下げるため広く学校施設を活用せよ。授業再開時には合唱など感染リスクの高い授業は見直せ。資金繰りに苦しむ経営者の相談窓口を設けよ。幼稚園や保育園へのマスク配付を急げ。昨年の台風被害を踏まえ、多摩川の堤防整備や河床掘削工事の推進、福祉避難所の整備、災害廃棄物の集積所確保などに取り組め。町会とマンションと物資提供などに係る防災三者協定を締結せよ。区立校の緊急連絡手段を刷新せよ。SDGsの理念に基づき女性の管理職への登用を区の戦略に位置づけよ。区の知的財産を一元管理し世田谷のブランド力強化を図れ。新庁舎建設など大型契約での入札の公平性を厳しく監視せよ。災害備蓄品の内訳を見直せ。原発廃炉計画をイベントなどで周知せよ。会計年度任用職員の待遇の男女格差を解消せよ。ものづくり学校の成果を明示し子ども職場体験の場としても活用せよ。海外姉妹都市との物産交流に取り組め。DV根絶に向け配偶者暴力相談支援センターの機能を高めよ。里親事業の成果指標に里親登録数を加えよ。精神科長期入院者の



自立に向け、セルフプランを尊重した支援を行え。子どもの虐待に係る一時保護の際にはDV被害者救済も視野に入れよ。医療的ケア児の支援の担い手育成に尽力せよ。障害者差別禁止条例を制定せよ。緑の保全のため緑化助成制度を一層周知せよ。精神障害者の居住支援充実を図れ。下北沢駅前広場のユニバーサルデザインを進めよ。学校給食の牛乳は瓶での提供を再検討せよ。障害者の意向を尊重したインクルーシブ教育を進めよ。性別に係る固定観念の払拭に向けジェンダー平等教育を進めよ。多くの子どもが利用するようタッチ・ザ・ワールドを抜本的に見直せ。東京20大会が延期となったが、関連予算を無理やり消化せず、国や都と連携し新型コロナウイルス対策の強化など適切な予算執行に取り組め。



予算特別委員会での採決の様子



予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継で検索！

2年度予算に対する

区長は危機感をしっかりと持ち
非常事態に備えた対策を講じよ

―無所属・世田谷行革110番・維新―

（全ての会計に賛成する意見）

区は予算委員会において、我が会派の質問に対し虚偽の答弁を行った。このような無責任な行為は行政不信という損失をもたらす。いずれは行政崩壊を招きかねない。区政を厳しくチェックすることは議会の責務である。区の議会軽視の姿勢は決して許されるものではなく、猛省を強く求める。

新型コロナウイルスの感染が拡大する非常事態のさなか、区長の緊張感のなさや残念の極みだ。新型コロナウイルスだけでなく、いずれ発生する首都直下地震や昨年課題が浮き彫りとなった台風対策など、区が直面する災害対策の課題は山積している。厳しい財政状況においても、区民を守るため災害対策の中枢機能の抜本的強化に力を注げ。また、区政の様々な分野でICT化を進めて無駄な作業を削減し、優先事業に人員を配置せよ。4月に開設の区立児童相談所の運営に尽力せよ。

東京は新型コロナウイルスの震源地となり得る危機的状況にあり、区民の生活が危ぶまれている。更に、感染拡大に加え、首都直下地震や台風上陸が重なることも起こり得る。区長は危機感を持ち、あらゆる非常事態に備え万全の対策を講じよ。

政策の意思決定を迅速に進め
新型コロナウイルスの拡大防止に取り組み

―Setagaya@G1―

（全ての会計に賛成する意見）

新型コロナウイルス対策では、テレワークやタブレット授業、オンライン手続きなど自治体のICT活用度による差が明確になった。この厳し

い状況下で副区長を増やすのならば抜本的改革に向け、ICTに精通する人材を採用せよ。

区が現在検討中の地域行政制度改革では、虐待予防、認知症対応のまちづくり、区職員の能力向上を改革の柱とせよ。

児童相談所開設に際し、転入情報を地域で共有できる仕組みを構築し、虐待ゼロを実現せよ。仮称認知症とともに生きる希望条例の制定に伴い、まずは区が目指す地域社会のあるべき姿を明確に描け。

区のハザードマップには土砂災害警戒区域内にある施設が避難所として記載されていた。区民の命を守るため早急に改善せよ。

新型コロナウイルスの感染防止に向けた学校の一時休校が行われているが再開の目途は立っていない。子ども居場所」や「地域で子どもを守る力」の活用を工夫し、子どもの健全育成に取り組み。学校現場へ情報を迅速に伝えるため電話による情報伝達ではなくメールなどICTを活用せよ。

新型コロナウイルスから区民生活を守れ

―日本共産党世田谷区議団―

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）

新年度予算は、くらしと子育て応援の積極的予算と考え賛成する。

一般の感染拡大に対し、区政運営はくらし・福祉を守ることを基本に据えた対応を求める。更に必要な財源を国や都に求め、区民生活の負の影響への低減策を講じよ。今後、区民生活防衛と区内中小業者を守るための経済政策として、税・社会保険料減免、また国へは所得保障や消費税5%減税を求めよ。区民サービス後退や区内産業活用の観点を踏まえ、公共工事等精査を行え。介護分野では介護崩壊とならないよう、区として実態把握・必要な対応を。介護職確保の総合的対策強化を。子ども分野では、成長・発達・学習の保障に最大限の努力を。直営学童は、セーフティネットの役割が大きく、

今後とも直営運営を。過密化・指導員不足の最大限の対策を。

持続可能な社会の実現に力を注げ

―生活者ネットワーク世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

温暖化が進むにつれ感染症・洪水等、人類に及ぼす影響は増える。現実を直視し将来を見据えた対策を行え。WHOがパンデミックと認めた感染症の拡大は危機的状況だ。新型コロナウイルスに伴う緊急措置も視野に財政運営せよ。子どもの最善の利益を保障する体制を強化せよ。有機食材を使うなど給食の安全性を高めよ。児童保護行政では養育家庭の確保や子どもアドボカシーを進め、関係機関と連携して切れ目のない支援を実現せよ。海洋汚染防止に向けマイボトル対応の給水機を設置し周知せよ。ごみの発生抑制と分別を促進せよ。ペット同行避難を含め適切に避難できるように区民周知を工夫せよ。性犯罪被害者専門の相談窓口を設け加害者への更生も検討せよ。様々なステークホルダーの参加を担保する地域行政条例を目指せ。

全職員が区民福祉に一隅を照らせ

―減税せたがや―

（全ての会計に賛成する意見）

新型コロナウイルスから区民の命を守るため、今何をすべきか勇気を持って決定し、補正予算を組んでも、考え得るあらゆる支援策を迅速に実行せよ。全職員一人ひとりが最善を尽くして幸せな社会づくりに貢献する「一隅を照らす」精神の下で区民福祉の向上に邁進せよ。

実効性ある施策を再構築せよ

―レインボー世田谷―

（全ての会計に賛成する意見）

DVなどの被害者支援を事業化しても規定の整備を怠り、当該事業を区民に一切広報しないという事務の形骸化が散見される。早急に総点検せよ。防災意識を欠く部署があまりにも多い。全職員が防

災の担当者や責任者である自覚を持って事務の再点検を行え。

区民生活に寄り添った施策を行え

―世田谷無所属―

（全ての会計に賛成する意見）

新型コロナウイルスの迅速かつ適切な情報公開と経済支援を行え。新公会計制度の活用を進めよ。二子玉川エリアマネジメンツを支援せよ。医学知識検定の普及を図れ。スポーツ練習場を設けよ。コワーキングスペースを拡充せよ。用賀くすのき公園への喫煙所整備を見直せ。

柔軟な発想で新型コロナウイルス対策を行え

―都民ファーストの会―

（全ての会計に賛成する意見）

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、従来の形にとらわれず、電子会議などに取り組み。東京2020大会開催延期に伴い、区の関連事業も停止延期せよ。外出自粛が続く中、子どもがいる家庭や幅広い事業者を支援する予算を捻出できるよう、不要不急な事業を廃止せよ。

区民を守る対策に一丸で取り組み

―区民を守る会―

（全ての会計に賛成する意見）

誰もが安心して暮らせる世田谷の実現に向け、NHKによる悪質な集金活動や卑劣な犯罪行為などから区民を守る取組を積極的に進めよ。虐待や貧困から子どもを守る対策を強化せよ。新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向け、全庁一丸となってあらゆる対策を行え。

子どもの最善の利益を守れ

―無所属―

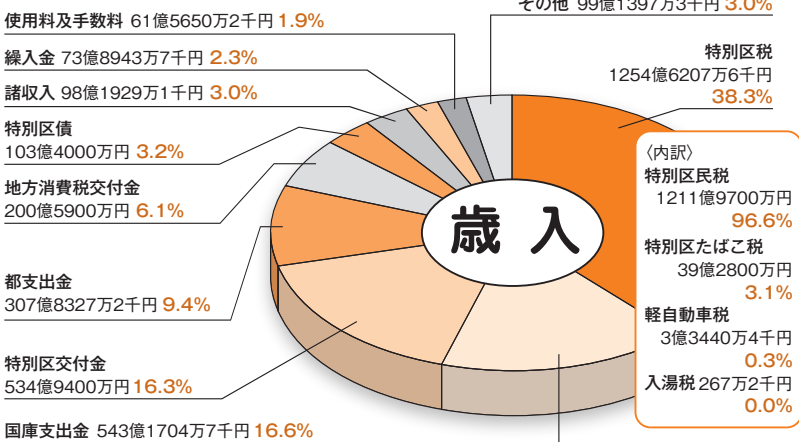
（全ての会計に賛成する意見）

児童相談所主導で関係機関と連携し、子どもに最善の対応をせよ。高齢者が地域で活躍できる機会を増やせ。保護司の面接の場としてまちづくりセンターを開放したことを評価する。一斉休校で失われた子どもの貴重な学校生活が一日も早く再開できるよう尽力せよ。

令和2年度各会計予算

内 容		対前年度比増減率(%)
一 般 会 計	3277億3459万8千円	2.6
特別会計		
国民健康保険事業会計	805億8554万2千円	-2.1
後期高齢者医療会計	218億6124万4千円	2.5
介護保険事業会計	736億1175万円	1.6
学校給食費会計	29億8277万5千円	0.1
計	5067億7590万9千円	1.7

一般会計予算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

令和2年度 予算のあらまし

